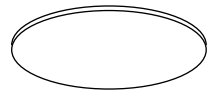
National

取扱説明書

保管用
保証書別添付
工事説明付き

住宅用照明器具 (シーリングライト)

品番 **HAA8111-RPP**



お客様へ **このたびは、ナショナル照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。**
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(1~ 2ページ) は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

工事店様へ **この説明書は必ずお客様にお渡しください。**

上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。 (下記は、絵表示の一例です。)

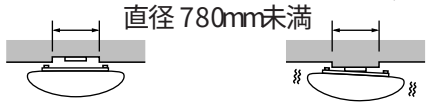
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

禁止

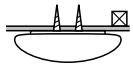
■次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・平面部が直径 780mm未満の場所 (例 :下図)



・凹凸のある場所 (例 :下図)

・補強のない薄い場所 (ベニヤ板、石こうボードなど)



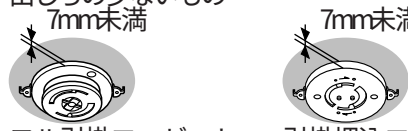
・55度を超える傾斜した場所

●この器具は天井面取り付け専用です。

禁止

■次のような配線器具には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・出しろの少ないもの

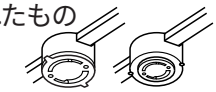


・シーリングハンガーが取り付けられたもの

・がたついたり、破損しているもの

・斜めに取り付けられたもの

・ケースウェイに取り付けられたもの



●工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。 (交換には資格が必要です。)

必ず守る

■交流 100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口 (保証書内在中) にご相談ください。

分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

この紙は再生紙を使用しています。

⚠ 注意

必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して 10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
● 1年に 1回は同梱の「安全チェックシート」 (保証書内在中)に基づき自主点検してください。

接触禁止

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
●この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
●器具の真下にストーブなどを置かないでください。

■他の調光器と組み合わせて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。
●工事店、電器店に調光器の取り外しを依頼してください。 (取り外しには資格が必要です。)

使用上のご注意

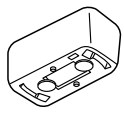
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が照明器具から発生することがありますが、異常ではありません。
●電波の弱い場所（山間部、鉄筋建物内など）では、室内アンテナ使用のテレビやラジオに画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
●照明器具のきわめて近くでは、他の機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●冬場など周囲の温度が低い場合、明るくなるまで時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
●非常に短い停電が起こると点灯状態が意図せず切り替わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチ（壁スイッチがない場合はブレーカ）をOFFにしてください。
●天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなることがあります。
●周囲温度が低いと、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。
●市販の LED豆球を使用すると、リモコンで「切」にしても完全に消灯しないことがあります。
ご使用はお避けください。

付属部品の確認

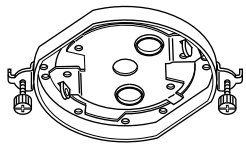
施工する前にまず付属部品をご確認ください

●本体取り付け用付属部品

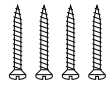
□ 配線器具
(角型引掛シーリング (1個))



□ 取付金具 (1個)
本体止めネジ (2本)

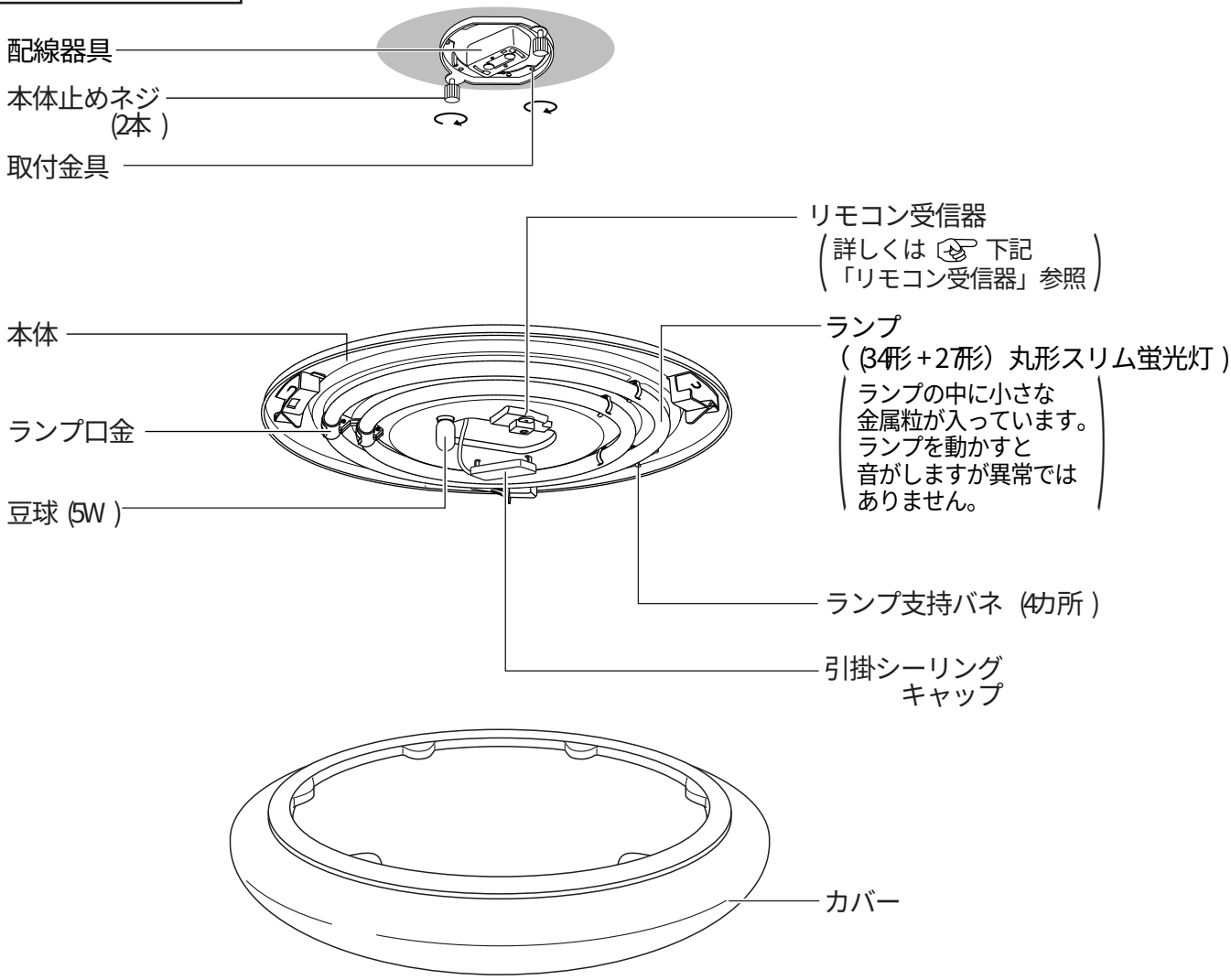


□ 木ネジ (4本)
(引掛シーリング用 2本
取付金具用 2本)

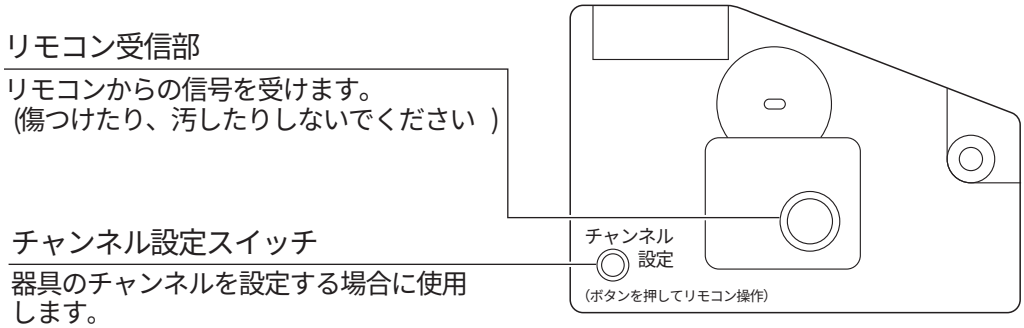


各部のなまえとはたらき

照明器具



リモコン受信器



照明器具を取り付ける

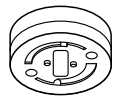
安全のため、電源を切ってから行ってください

1 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

取り付けできる配線器具

角型引掛シーリング
品番：WG1000

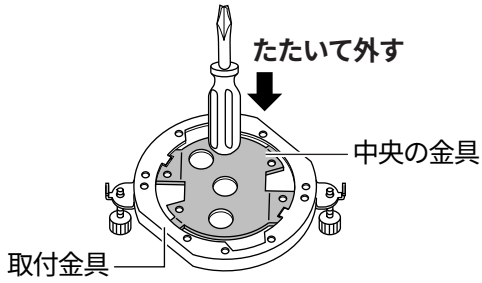
丸型フル引掛シーリング
品番：WG5005
WG5015



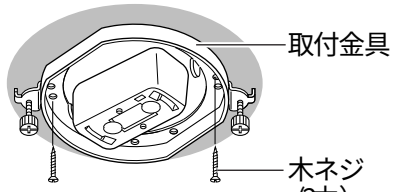
丸型引掛シーリング
品番：
WG4000,WG4420,
WG4005,WG4425,
WG1500

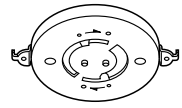
付属の取付金具の取り付けが必要です

1 取付金具の中央の金具を外す

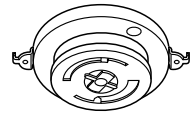


2 補強材のある場所に付属の木ネジ (2本)で、取付金具を取り付ける





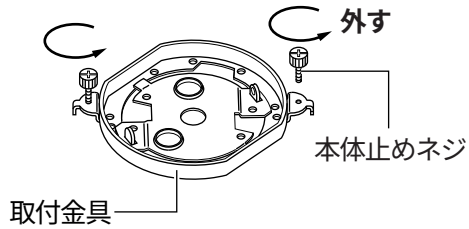
引掛埋込ローゼット
品番：WG6000
WG6420
引掛露出ローゼット
品番：WG6130



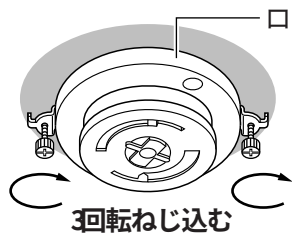
フル引掛
ローゼット
品番：WG6005

付属の本体止めネジの付け替えが必要です

1 取付金具に付いている本体止めネジを外す



2 ローゼットに本体止めネジを仮止めする



上記 5タイプ以外の配線器具 **工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。交換には資格が必要です。**

同梱の配線器具に取り替える

⚠ 警告

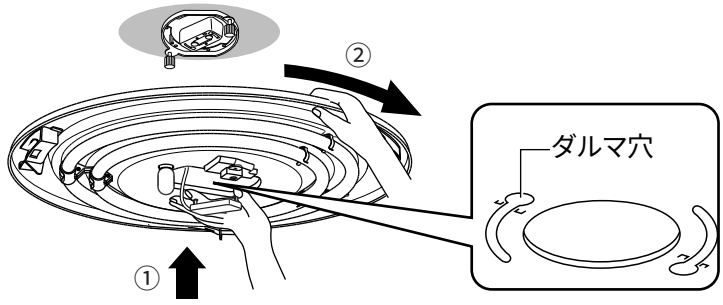
■配線器具が十分な強度で取り付けられていることを確認する
落下によるけがのおそれがあります。
●配線器具ががたつく場合は、配線器具を交換してください。

■配線器具の交換は工事店、電器店に依頼する
感電、落下によるけがのおそれがあります。
●交換には資格が必要です。

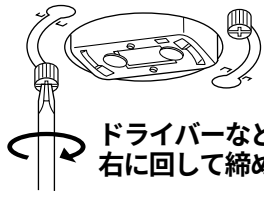
●ボルトによる取り付け、アウトレットボックスに取り付ける場合は、工事店、電器店に依頼してください。

2 本体を取り付ける

①本体止めネジとダルマ穴を
合わせて、押し上げる
②本体を右に回す



3 本体止めネジを締め付ける

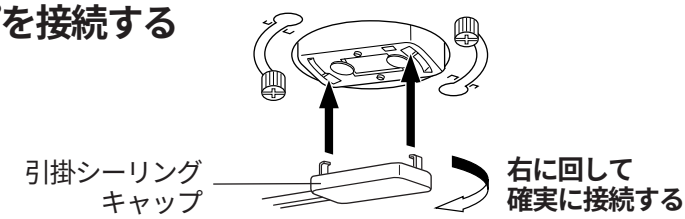


確認

●取り付け後、本体ががたついたり、容易に回転したりしないか確認する。

●本体取り付け後、ランプがソケットから浮いていないか確認する。
➡浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。

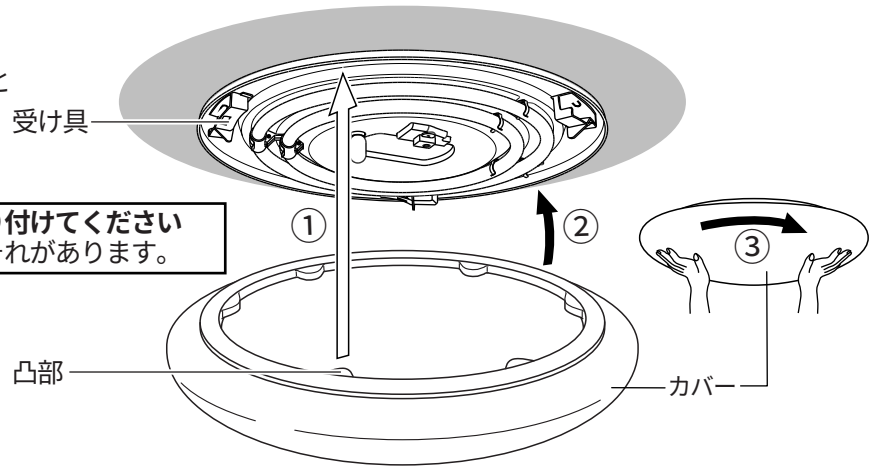
4 引掛シーリングキャップを接続する



5 カバーを取り付ける

①カバーの凸部を本体の受け具と
受け具の間に合わせる
②カバーを持ち上げる
③カバーを右に回す

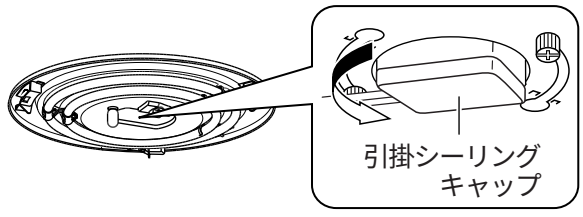
⚠注意	**カバーは確実に取り付けてください** 落下してけがのおそれがあります。



本体の外しかた

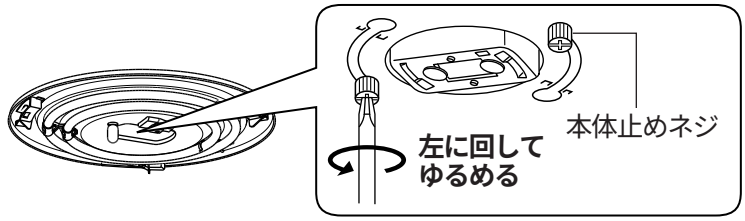
1 引掛シーリングキャップを外す

引掛シーリングキャップを
左に回して外す



2 本体を外す

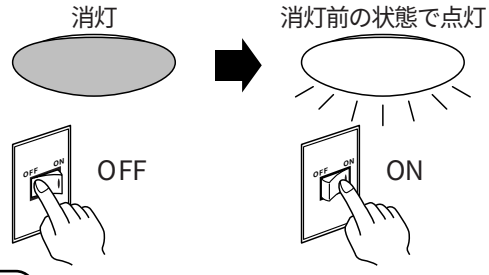
本体止めネジをゆるめて、
本体を左に回す



壁スイッチで操作する

消灯する・点灯する

●壁スイッチを ONすると、消灯前の状態で点灯します。
「段調光」で OFFすると、次に ONしたときは「段調光」で点灯、
「豆球」で OFFすると、次に ONしたときは「豆球」で点灯します。

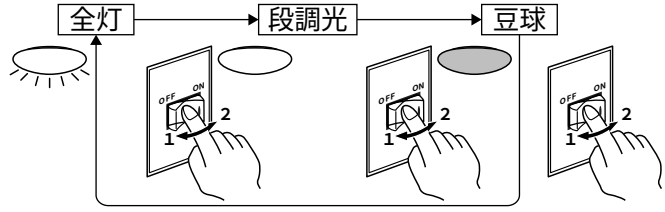


メモ

●リモコンで「消灯」した後に壁スイッチを OFFし、再度壁スイッチを ONしても「消灯」のままです。
壁スイッチを素早く（約 2秒以内）OFF→ ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
●「段調光」で壁スイッチを OFFし、再度壁スイッチを ONすると、いったん「全灯」になった後「段調光」となります。

点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く（約 2秒以内） OFF→ ONすると、点灯状態が切り替わります。



メモ

●リモコンで消灯しているときにこの操作をすると、全灯に切り替わります。
●壁スイッチ 1個で 2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチが ONのままだと待機電力（ 1.5W以下）を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチを OFFにしてください。

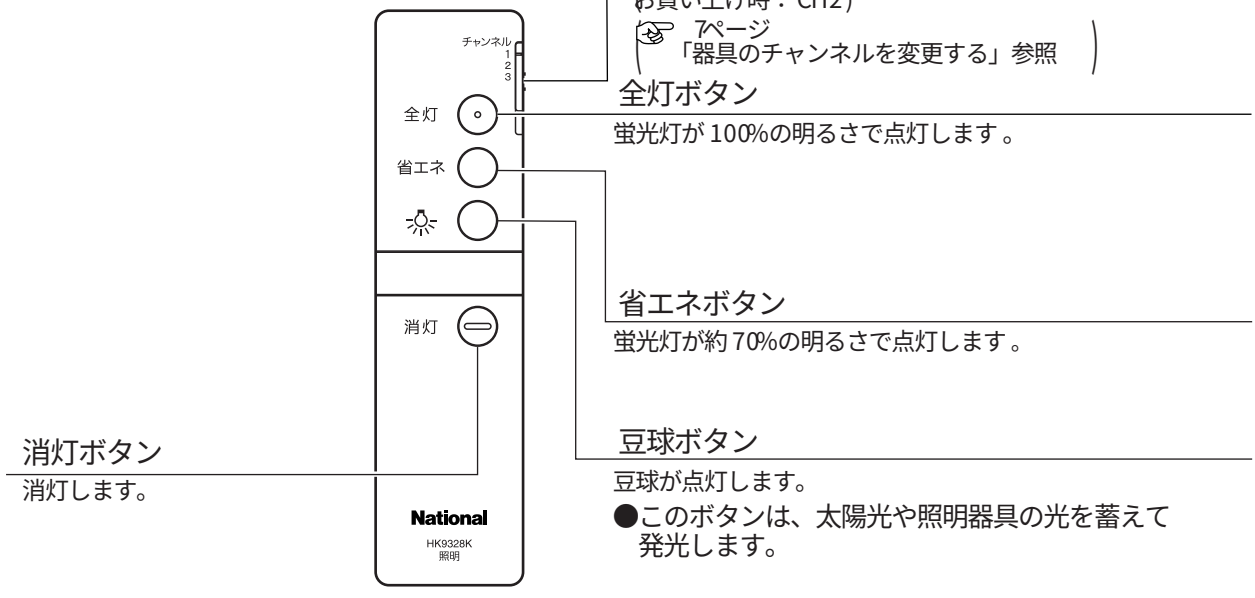
リモコンで操作する

壁スイッチを「 ON」 にして、器具に向けて操作してください

リモコンは別売です。ニーズに合わせてお求めください。

HK9328K	●蛍光灯、豆球をダイレクトに切り替えることができます。
HK9339	●蛍光灯、豆球が順番に切り替わります。
HK9392K	●タイマーの機能があります。 ●蛍光灯、豆球をダイレクトに切り替えることができます。
HK9323	●タイマー、アラームの機能があります。 ●蛍光灯、豆球をダイレクトに切り替えることができます。

リモコン各部のなまえとはたらき（ HK9328Kの使用例 ）



チャンネルスイッチ

操作したい器具のチャンネル（CH1～ 3）に合わせて使います。
（お買い上げ時： CH2）

7ページ
「器具のチャンネルを変更する」参照

全灯ボタン

蛍光灯が 100%の明るさで点灯します。

省エネボタン

蛍光灯が約 70%の明るさで点灯します。

豆球ボタン

豆球が点灯します。

●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

消灯ボタン

消灯します。

器具のチャンネルを変更する

①リモコン受信器のチャンネル設定スイッチを押す

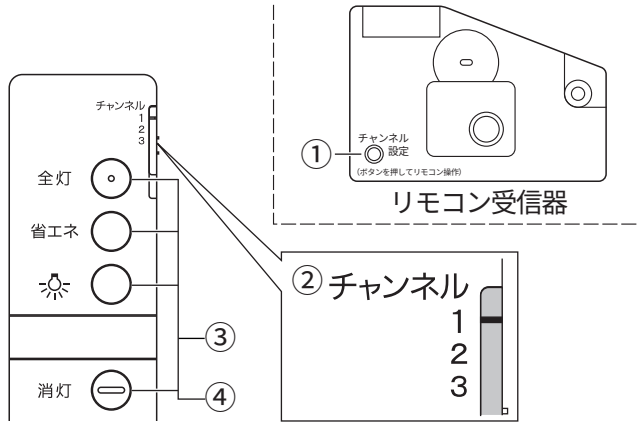
②リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる（例：CH1）

③リモコンのいずれかのボタンを押す（設定完了）

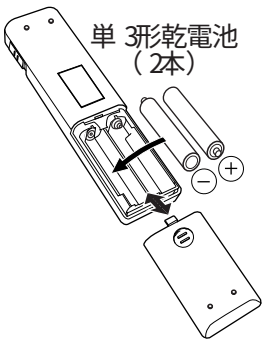
④リモコンのそれぞれのボタンを押して点灯状態が切り替わることを確認する

メモ

●2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。
（操作できる台数はリモコンにより異なります）



電池交換について

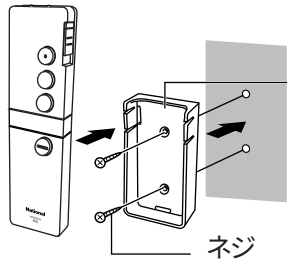


電池交換時期の目安

・乾電池は半年を目安に交換してください。

⚠注意	**・指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。** **・極性表示の通り ⊕⊖を正しく入れる。** **・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。電池の破裂や液もれの原因となることがあります。**

リモコンボックスについて



リモコンボックス

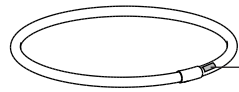
紛失防止用に壁掛け収納できます。

●リモコンは必ず器具に向けて操作してください。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

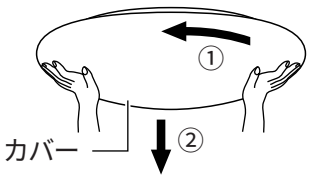
●ランプが1本でも寿命になると、すべてのランプは正常点灯しません。ランプはすべて同時に交換することをおすすめします。
●ナショナル製ランプをお求めください。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。



ランプの種類が表示されています

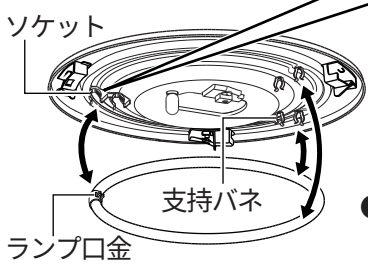
1 カバーを外す

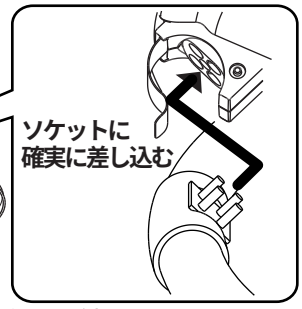
①カバーを止まるまで左に回す
②カバーを外す



2 ランプを交換する

●取り外す
①支持バネ側を外す
②ランプ口金側を外す





●取り付ける
①ランプ口金をソケットに差し込む
②支持バネで固定する

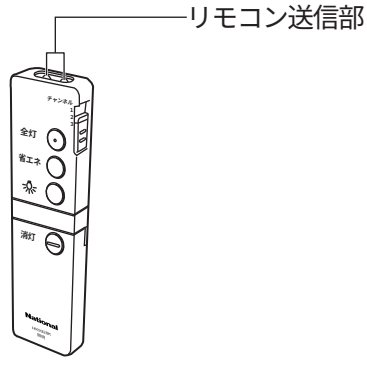
3 カバーを取り付ける

☞ 5ページ「照明器具を取り付ける」手順 5 参照

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に 1回程度）に清掃してください。
・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



リモコン

●電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の電池は、保管状況により性能が落ちることがあります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置
点灯しない	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットにはめる
	ランプが切れている	ランプを交換する
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチを ONにする または、壁スイッチを素早く OFF→ ONにする （☞ 6ページ「壁スイッチで操作する」参照）
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを照明器具と合わせて操作する

左記の処置を行っても現象が続く場合

電源をいったん切り、再度入れる
（20秒以上切ってください）

●電源をいったん切るとチャンネル設定が変わる可能性があります。その際は設定し直してください。（☞ 7ページ「器具のチャンネルを変更する」参照。）

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、工事店、電器店、お客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	78W（リモコンOFF時、1.5W以下）	（34形＋27形）丸形スリム蛍光灯　FHC34+FHC27

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書について

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げの日より 1年間です。
但し安定器については 3年間です。
（ランプ等の消耗品は除きます。）
※保証の例外　24時間連続使用など、1日 20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後最低 6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は
お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●アフターサービスについてのご不明な点は
修理に対するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工修理ご相談センターならびにお客様ご相談センター「一覧表ご参照（保証書内在中）」にお問い合わせください。

松下電工株式会社　住宅照明事業部　〒571-8686　大阪府門真市門真 1048